

道 徳

1 編集の具体的方針

(1) 各学年の分冊は次のとおりである。

なお、第1学年第1巻（1－1）は、点字学習の開始時期であることへの配慮と製本上の都合により、片面印刷としている。

第1学年	1－1	39 ページまで	1－2	40～130 ページ
第2学年	2－1	69 ページまで	2－2	70～138 ページ
第3学年	3－1	73 ページまで	3－2	74～148 ページ
第4学年	4－1	83 ページまで	4－2	84～160 ページ
第5学年	5－1	81 ページまで	5－2	82～164 ページ
第6学年	6－1	85 ページまで	6－2	86～168 ページ

(2) 編集にあたっては、基本的には原典教科書に大きな変更を加えることなく点字化を行った。点字を使用する児童の学習活動として成り立ちにくいものや理解しにくい題材については、点字表記の特性も踏まえて、次のような「修正」「追加」「削除」を行った。

① 児童の生活経験からは理解が難しい事柄については、備考欄に配慮事項として記載した。单元の中で取り上げることで、児童の生活経験を広げることが望ましい。

【例】第1学年「26 こくばんとうばん」－ 黒板当番

第3学年「20 楽しめばすきになる」－ 漢字練習

② 動作や表情を伴う表現については、動きと意味を確認することを配慮事項として記載した。

【例】第2学年「4 よいのかな」－ 顔を見合わせる

第6学年「5 友達だからこそ」－ しぶい表情

③ 視覚的な美しさや感動など、見なければ理解が難しいものについては、配慮事項として記載した。

【例】第2学年「34 雨上がりの空に」－ にじ

第5学年「23 よみがえる五百年前の色彩」－ 天井画の色彩

④ 必要に応じて漢字の説明の追加、表記の修正、配慮事項への記載を行った。

【例】第3学年「7 わたしたちの『わ』」－ 和（なかよくする） 輪（丸くつながる）

【例】第4学年「26 日本人が世界に広めたすごいもの」－ 千億食 → 一
千億食

⑤ 児童自身の視覚を伴う活動については修正を行った。

【例】第3学年「9 えがおいっぱい」－ ふせんに書いてはり出して→ 整理して

- ⑥ 点字表記の特性を踏まえて、番号や記号を付けて、全体の構成がわかりやすいように修正を行った。

【例】第1学年「4 きもちのよいせいかつ」
各学年の「考えよう」「深めよう」

- ⑦ 学習活動の中で、表に書き出す課題では、児童自身が実際にノートに筆記できる形式に修正を行った。

【例】第4学年「自分のあいさつについて考えよう」

(3) 写真や絵の扱いについて

- ① 写真や絵は、原則として削除した。題材の理解の助けとなるもの、児童の興味関心を喚起するものについては、絵の説明や写真の説明を加えた。また、読み取りが児童の負担にならないことに配慮しつつ、各学年に2枚程度の点図を入れた。

【例】第4学年「22 一步一步の積み重ね ——伊能忠敬——」 — 伊能忠敬の地図

第5学年「11 新幹線開発物語」 — 新幹線ひかり号

- ② 低学年の絵や写真を中心とした題材は、題材の狙いに沿って文章化した。

【例】第1学年「1 がっこうだいすき」

(4) 障害や病気に関連した題材について

障害や病気に関する内容が取り上げられている教材が複数ある。特に、神経芽細胞種に触れた教材等は、児童の実態に応じたきめ細かい指導の工夫及び配慮が必要である。また、障害について触れた教材では、当事者の視点を加えることで、より深い学びにつなげていくことが望ましい。

【例】第3学年「24 光祐くんのアサガオ」 — 白血病

第5学年「17 ルールを守る」 — 障害者等用駐車場

(5) レイアウトについて

- ① 目次にある「この本のマークの説明」は、「見出しの言葉の説明」とし、絵マークをそれぞれ次のように修正した。

(自分) — 自分のこと

(つながり) — 人とのつながりに関わること

(集団) — 集団生活に関わること

(命や自然) — 命や自然に関わること

(スキル) — 体験をとおして、人としての行い（行動）について考えを深めます。

赤・青・黄の色分けで表されているマーク → 削除。内容については、第1括弧で囲んで本文の見出しの後に掲載した。

- ② 目次にある、「〇年生の学習で特に大切なこと」については、教材名の前に第一星印を付けて示した。

- ③ 「考えよう」「深めよう」「やってみよう」等の課題には、番号や記号、第一星印を付すなどの修正を行った。「考えよう」の星印は、番号の前に第一星印を付して示した。

- ④ 「やってみよう」や、本文中の手紙，地色の違う部分などは実線枠で囲み，他の部分と区別できるようにした。児童の作品等については点線枠で囲んだ。
 - ⑤ 児童の顔のイラストや「とりどり先生」の吹き出しは，第1カギで囲んだ。
 - ⑥ 巻末の「学びの記録」の教材名一覧は削除した。
 - ⑦ 巻末の「学習内容一覧」は削除した。
 - ⑧ 奥付のページのパラリンアートの作品は削除した。
 - ⑨ 「注」は原則として，奇数ページの欄外に掲載した。
 - ⑩ 原典教科書のページは，「⠆」で挟んでページ行の左側に掲載した。児童への周知のために，目次の最後に，「墨字の教科書のページは，ページ行に⠆⠆⠆⠆のよう
に書いてあります。」と記載した。
 - ⑪ 編集資料における修正内容の表記は，原典教科書が分かち書きをしており，参考資料も多い第1学年を，分かち書きと切れ続き，長音符号や仮名遣いなど，点字表記に近い形で表した。
- (6) 点字表記及びレイアウトについて
- ① 点字表記及びレイアウトについては，『日本点字表記法 2018年版』（日本点字委員会編集・発行）に拠った。
 - ② 点字符号や特殊音については，特に低学年で，国語でまだ学習していないものを使用している箇所がある。名称や用法を確認し，点字表記法への知識を広げたい。
- (7) 「まなびリンク」について
- 今回の改訂で，関連するウェブサイトへリンクする「まなびリンク」が新設された。視覚障害のある児童にとって必ずしも利用しやすいものではないが，役に立つものもあるため，目次の後に一覧を掲載した。

2 編集の具体的内容

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1-1	6・7		修正	<p>「1 がっこー だいすき」 (絵を次のように文章化した。)</p> <p>やすみ じかん こーていで はしろー ぼーるで あそぼー せんせいと おはなし かだんに みずやり しいくがかりわ うさぎに えさやり くるまいすの ともだちも いる としょしつで ほんを よもー ほけんしつにわ ほけんの せんせい</p>	編集の具体的方針(3)-②による。
	8		修正	<p>「2 たのしい ことが いっぱい」 (写真と絵を次のように文章化した。)</p> <p>にゅーがくしき えんそく プール うんどーかい ゆきあそび はる なつ あき ふゆ がっこーにわ たのしい ことが いっぱい あります。</p>	編集の具体的方針(3)-②による。
	9		修正	<p>(絵を次のように文章化した。)</p> <p>こくご さんすー せいかつ おんがく ずが こーさく たいいく どーとく じりつ かつどー がっこーにわ いろいろな じゅぎょーが あります。 きゅーしよくも たのしみな じかんです。</p>	編集の具体的方針(3)-②による。

1-1	10・11		修正	<p>「3 あいさつの ことば」</p> <p>(絵を次のように文章化した。)</p> <p>がっこーに いく とき いえの ひとに あさ こーもんで こーちよー せんせいに おひるに きゅーしょくを たべる とき きょーしつで おとした ものを ともだちが ひろって くれた とき かえりに ともだちと わかれる とき よる ねる とき かぞくに</p>	編集の具体的方針(3)-②による。
	12・13		修正	<p>「4 きもちの よい せいかつ」</p> <p>(絵を次のように文章化した。)</p> <p>(あさ)</p> <p>1. 6じに じぶんで おきます。 2. よーふくに きがえます。 3. かぞく そろって あさごはん。</p> <p>(よる)</p> <p>4. あしたの じかんわりを そろえます。 5. ねる まえに ほんや おもちゃを かたづけます。 6. しっかり はみがき。 7. 8じには あしたの きがえを よーい して おやすみなさい。</p>	編集の具体的方針(3)-②による。
	14・15		削除 修正	<p>「5 ものや おかねを たいせつに」</p> <p>(絵を削除し、次のように修正した。)</p> <p>1. たいせつに されて いる ものや おかねわ, どー おもって いるでしょー。 ☆2. たいせつに されて いない ものや おかねわ, どー おもって いるでしょー。</p>	<p>編集の具体的方針(3)-②による。</p> <p>*本教材は、物やお金を大切にするとはいどういうことかを、児童自身が考え、気付くことがねらいである。自分自身の身の回りの物の扱いを通して具体的に確認しながら考えることができるよう指導するのが望ましい。</p>
	16～18		修正 追加	<p>「6 かぼちゃの つる」</p> <p>(場面に番号を付し、場面の説明を加えた。つるを伸ばしたかぼちゃを点図で示した。) 【資料1】</p>	編集の具体的方針(2)-⑥, (3)-①による。

1-1	20		修正	<p>「7 くまさんの おちゃかい」 (「けいじばんの はりがみ」を枠で囲み、紅茶カップとクッキーを点図で示した。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>こんどの にちよーび, 2じから ひろばで おちゃかいを します。 みんな きてね。 くま</p> <p>(紅茶カップとクッキーの点図)</p> </div>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。 *紅茶カップなど、身近にある物の点図に親しむ機会としたい。</p>
	22 23	12 上段		<p>「さるさんわ したを むいて しまいました。」 「したを むいた さるさんわ」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。 *「下を向く」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>
1-2	45		修正	<p>「13 いのちの はじまり」 (場面に番号を付し、実線枠で囲んだ。絵の説明は「」で囲み、次のように修正した。)</p> <p>1. 「おなかの なかに あかちゃんが いて、おかあさん、 うれしそうだね。」 3. 「うまれて きて くれて ありがとう。ながい おへそから おへそえ！」</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	46		修正	<p>「14 生きて いる じぶん」 いきて いるから できる ことを かいて みましょー。 かえで 「ともだちと あそべるよ。」 ゆーき 「…」 できる ことが いっぱいだね!</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑥による。</p>
	52	11・12	削除	<p>「15 たのしかった ハイキング」 「♪」は削除</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑥による。</p>
	54		修正	<p>「きまりを まもって」 じゅぎょーちゅーに おしゃべり しない。 ゆーか 「せんせいの おはなしが よくきこえないな。」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑥による。</p>

1-2	57	5 上段	<p>「16 きいろい ベンチ」</p> <p>「かおを みあわせました。」</p> <p>「かおを みあわせた とき」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。</p> <p>*「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>
	64・65	修正	<p>「18 なんて いったら よいのかな」</p> <p>(絵を次のように文章化した。)</p> <p>(れい) あさ, おーだん ほどーで, こーつー しどーいんさんが はたを もって わたらせて くれる とき</p> <p>「おはよー ございます。」</p> <p>1. ろーかの まがりかどで ともだちが はしって きて ぶつかりそーに なった とき</p> <p>2. ブランコを ともだちに ゆずって あげる とき</p> <p>3. ともだちが ジュースの あきかんを みちばたに なげすてた とき</p>	<p>編集の具体的方針(3)-②による。</p>
	76～78	追加	<p>「21 ねずみくんの きもち」</p> <p>(場面の説明を()で囲んで追加した。)</p> <p>【資料2】</p>	<p>編集の具体的方針(3)-②による。</p>
	94	修正	<p>「25 もりの ゆーびんやさん」</p> <p>(こりすの手紙を葉の形の枠線で囲んだ。)</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	95～98		<p>「26 こくばん とーばん」</p> <p>「こくばん とーばん」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	100・101	修正	<p>「27 みんなが えがおに」</p> <p>(絵を削除し、場面の説明を加えた。) 【資料3】</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	106～ 108	修正	<p>「29 日本の ぎょーじ」</p> <p>(四季を表す絵を削除し、(はる) (なつ) (あき) (ふゆ) という見出しに修正した。)</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>

1-2	120・121			「33 見上げて みよう よるの 空」	編集の具体的方針(2)-③による。 *本教材を取り上げる際には、夜の星空を見ることが難しい児童への配慮が必要である。
	130	修正		「みに つけよー れいぎ・ マナー」 (次のように修正した。) 「たちどまって あいてを みる。」→ 「たちどまって あいての ほーに からだを むける。」 「しせんを したに むけながら」は削除。 「からだを かたむける。」→「からだを まえに かたむける。」 「からだを おこして あいてを みる。」→ 「からだを おこして あいてに かおを むける。」 「あたまだけ」→「あたまだけ さげる。」 「せなかが まるい」→「せなかが まるまって いる。」	編集の具体的方針(2)-②⑤による。 *本教材は実際に体を動かしながら習得していけるよう配慮が必要である。
	129	修正		「みに つけよー れいぎ・ マナー」 (次のように修正した。) 「あごを かるく ひき, すこし さきを みるよーに する。」→「かおを あげて, あごを かるく ひく。」 「じぶんの しょつきを はこぶ。」→「しょくじの あとは じぶんの しょつきを はこぶ。」	編集の具体的方針(2)-②⑤による。 *本教材は実際に体を動かしながら習得していけるよう配慮が必要である。
	130	修正		「① せいり せいとん して つかいやすく」 「どーぐばこ, ロッカー, げたばこなど, じぶんの みのまわりを」に修正。	編集の具体的方針(3)-①による。
2-1	8	修正		「1 春がいっぱい」 (写真は削除し、右上から下に向かって名称を順に記載し、マークはそれぞれ文字で表した。) もんしろちょう (どうぶつ) しろつめくさ (しょくぶつ)	編集の具体的方針(3)-②による。

2-1	15	上段	修正	<p>「3 あいさつ」 (次のように修正した。) 「ふつうに歩く人」→「向こうから歩いてくる人」</p>	編集の具体的方針(2)-⑤による。
	18 19	14 下段		<p>「4 よいかな」 「顔を見合わせました。」 「顔を見合わせた」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。 *「顔を見合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>
	21~23 21 23	 下段 下段	修正	<p>「5 みんなのものって？」 (やってみよう①と②のメモ書きを例として書いてあることが分かるように記載した。) (例) ボール (例) 図書館の本</p>	編集の具体的方針(2)-⑥による。
	42~44			<p>「11 あと少し」 「なわとび」「二じゅうとび」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。 *児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	46		修正	<p>「12 はりきりパンダとだらだらパンダ」 (「はりきりパンダ」「だらだらパンダ」を点図で表した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	62~65 65	 8		<p>「16 きゅう食当番」 「きゅう食当番」 「おたがいの顔を見つめ合った。」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。 *児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。 編集の具体的方針(2)-②による。 *「顔を見つめ合う」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>

2-2	70	1	追加	<p>「18 ぼんたとかんた」</p> <p>(絵を削除して、たぬきの話であることがわかるよう、本文の1行目冒頭に「たぬきの」を加えた。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	86~89			<p>「22 大なわ大会」</p> <p>「大なわ」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	108・109		修正	<p>「27 せい長かいだん」</p> <p>(写真は削除し、吹き出しを修正した。)【資料4】</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	111 111 112	10 15 2		<p>「28 しあわせの王子」</p> <p>「わたしの右目のサファイアをとどけておくれ。」</p> <p>「左目のサファイアをとどけるように」</p> <p>「王子は、目が見えなくなっていました。」</p>	<p>編集の具体的方針(4)による。</p> <p>*目を貧しい人にあげてしまい目が見えなくなってしまうという内容や記述について、十分な配慮が必要である。</p>
	114・115		修正	<p>「29 日本のたから 富士山」</p> <p>(富士山の写真を点図で表した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	118		修正 追加	<p>「30 国旗と国歌を大切に」</p> <p>(写真を削除し、日本とイギリスの国旗を点図で表し、説明を追加した。)【資料5】</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	124・125		修正	<p>「32 みちかなしぜん」</p> <p>(「こどもの森マップ」を削除し、絵の一部を次のように文章化した。)</p> <p>(「こどものもり」でできること)</p> <p>ぼうけんひろば—どろんこあそび、ろ—ぶあそび、ひみつきちづくり など</p> <p>はたけ—やさいづくり</p> <p>キウイだな—キウイしゅ—かくたいけん</p> <p>・・・</p>	編集の具体的方針(3)-②による。

2-2	128	4		<p>「34 雨上がりの空に」</p> <p>「にじ」</p> <p>「にじ色」</p> <p>(にじの写真を点図で表した。)</p>	<p>編集の具体的方針(2)-③による。</p> <p>*本教材を取り上げる際には、にじを見ることが難しい児童への配慮が必要である。</p>
	129	4			
	128・129	写真	修正		
3-1	26	5	修正	<p>「思いやる心について考えよう」</p> <p>(次のように修正した。)</p> <p>「こまっている人をみかけたとき」→「こまっている人に気づいたとき」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
	30	2	追加	<p>「7 わたしたちの『わ』」</p> <p>(漢字の説明を次のように追加した。)</p> <p>「和」→「和(なかよくする)」</p> <p>「輪」→「輪(丸くつながる)」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-④による。</p>
	33	3・4			
	41	下段	修正	<p>「9 えがお いっぱい」</p> <p>(次のように修正した。)</p> <p>「ふせんに書いてはり出しましょう」→「整理してみましょう」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
	51~53		修正	<p>「12 わたしの見たニッポン」</p> <p>(写真を削除。(1)~(6)の番号を付し、全体を実線枠で囲んだ。)</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑥による。</p>
	52	下段	修正	<p>「それぞれの写真と文章を見ながら」→「それぞれの文章を読みながら」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
3-2	75	16		<p>「18 悪いのはわたしじゃない」</p> <p>「目を合わせる」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。</p> <p>*「目を合わせる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>
	79~83			<p>「19 ドッジボール大会」</p> <p>「ドッジボール」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>

3-2	84~87			<p>「20 楽しめばすきになる」</p> <p>「漢字練習」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	86	7	追加	<p>(漢字の説明を追加し、文章を次のように修正した。)</p> <p>「住」→「住所」の「住」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-④による。</p>
			追加	<p>(「住」の字形を点線文字で表した。)</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	92~94			<p>「22 花さき山」</p> <p>(カッコ内は意味の説明のため、読みを妨げないように奇数ページ欄外に脚注として記載した。)</p>	<p>編集の具体的方針(5)-⑨による。</p>
	92	8	修正	<p>「ごっつおう」</p>	<p>編集の具体的方針(6)-②による。</p> <p>*「つお」の表記は未習のため、確認し、触れる機会としたい。</p>
	97	下段	修正	<p>「美しいものを見ると」→「美しいものに出会うと」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
	102~105			<p>「24 光祐くんのアサガオ」</p> <p>「白血病」</p>	<p>編集の具体的方針(4)による。</p> <p>*児童の実態に応じて、十分な配慮が必要である。必要に応じて、病気についての客観的な説明や、サバイバーの手記を補助教材として加えるなど、指導の工夫が大切である。</p>

4-1	14~19			<p>「3 夢は世界一のプロ野球マスコット」</p> <p>「マスコット」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	27	下段	修正	<p>「5 十才のプレゼント」</p> <p>(次のように修正した。)</p> <p>「自然の美しさなどを見て、心を動かされるのはどうしてでしょう。」→「美しい物にふれ、心を動かされたことはありますか。」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
		下段	修正	<p>「美しいものを見ると」→「美しいものに出会うと」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
	36		修正	<p>「いじめについて考えよう」</p> <p>(選択肢を、次のように修正した。)</p> <p>(オ) 友達のをかくす。</p> <p>(カ) 友達のを取り上げる。</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	37			<p>「8 プロレスごっこ」</p> <p>「プロレスごっこ」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	50		修正	<p>「自分のあいさつについて考えよう」</p> <p>(表を児童自身が実際にノートに筆記できる形式に修正した。)【資料6】</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑦による。</p>
	57	下段	削除	<p>「12 かわいくない」</p> <p>(「目と目」を削除した。)</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>
4-2	85・86		修正	<p>「19 ブラッドレーのせい求書」</p> <p>(「お母さんへのせい求書」「ブラッドレーへのせい求書」を枠で囲んで表記した。)</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑥による。</p>
	98	1~2	修正	<p>「22 一步一步の積み重ね ——伊能忠敬——」</p> <p>(次のように修正した。)</p> <p>「わたしたちが、よく目にしている」→「わたしたちのまわりにある」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-⑤による。</p>

4-2	98	写真	修正	(伊能忠敬の日本地図を点図で表した。)	編集の具体的方針(3)-①による。
	109			「23 受けつがれてきた命 ——屋久島三大杉——」 (「71,100ha」のように、5桁以上の数字には位取り点を使用した。)	編集の具体的方針(6)-①による。 *位取り点は未習のため、確認し、触れる機会としたい。
	111	3・4	修正	「24 タイガとココア」 (次のように修正した。) 「タイガ(大河)」→「タイガ(大きな河)」	編集の具体的方針(2)-④による。
	119		修正	「26 日本人が世界に広めたすごいもの」 (次のように修正した。) 「千億食」→「一千億食」	編集の具体的方針(2)-④による。
	134～ 137			「30 命 ——せいっぱい生きる——」 「神経芽細胞腫」	編集の具体的方針(4)による。 *児童の実態に応じて、十分な配慮が必要である。特に盲学校では、同種の疾患をもつ児童の在籍が少ない。必要に応じて、病気についての客観的な説明や、サバイバーの手記を補充教材として加えるなど、指導の工夫が大切である。
	155		修正	「35 希望と勇気を歌にのせて ——東北うたの本——」 (歌詞の改行の位置を詩行符で表した。)	編集の具体的方針(6)-①による。 *詩行符は一般の文章中に詩を追い込んで引用したり、紙面を節約したりするときに用いる符号で、後ろを二マスあける。この表記は未習のため、確認し、触れる機会としたい。

5-1	15	18		<p>「3 たからもの」</p> <p>「漢字練習」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-①による。</p> <p>*児童の経験から具体的に想起できないものについては、説明を加える等の配慮が必要である。</p>
	50~55	写真	修正	<p>「11 新幹線開発物語」</p> <p>(新幹線の写真を点図で表した。)</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	54	写真	修正	<p>(開業式の写真は削除し、キャプションを記載した。)</p> <p>(写真の説明) 東海道新幹線の開業式(1964年10月1日)</p>	
	60	1	追加	<p>「13 自動車への限らない夢」</p> <p>(「食器」との混同を避けるために説明を加えた。)</p> <p>「しよっき」→「しよっき(布を織る機械)」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-④による。</p>
	81			<p>「17 ルールを守る」</p> <p>「しょうがいのある人のためのちゅう車スペース」</p>	<p>編集の具体的方針(4)による。</p> <p>*障害者等用駐車スペースについて知り、当事者としての視点も加えて、題材を深められると良い。</p>
5-2	94~97	写真	修正	<p>「21 モントゴメリーのバス ——キング牧師とバスボイコット運動——」</p> <p>(キング牧師の写真は削除し、説明を本文の後に記載した。)</p>	<p>編集の具体的方針(3)-①による。</p>
	105			<p>「23 よみがえる五百年前の色彩」</p> <p>「天じょう画の色彩」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-③による。</p> <p>*本教材を取り上げる際には、色彩についての説明を加える等の配慮が必要である。</p>

5-2	105	上段	修正	(次のように修正した。) 「修復前と修復後の『大こうずい』を見て」→「修復前と修復後の『大こうずい』を比べて」	編集の具体的方針(2)-⑤による。
		下段		「これまでに見たり, 聞いたりした」→「これまでに触れたり, 聞いたりした」	
	106 111	下段		「24 二億人を救った化学者」	編集の具体的方針(2)-④による。 * 「化学者」と「科学者」は同音異義語で, 本文から判断しにくいいため, 意味の説明を加える等の配慮が必要である。
	116	写真	修正	「26 トキのまう空」 (トキの写真は削除し, キャプションを本文の後に記載した。) (写真の説明) 日本初の人工ふ化で生まれた「優優」	編集の具体的方針(3)-①による。
	126~ 130	絵	修正	「28 プータンに日本の農業を」 (プータンの地図を点図で表した。)	編集の具体的方針(3)-①による。
	136~ 139	絵	修正	「30 花に思いを込めて ——星野富弘——」 (絵を削除し, 詩を本文の後に記載した。) 【資料7】	編集の具体的方針(3)-①による。
		下段	修正	(次のように修正した。) 「星野さんの絵や詩」→「星野さんの詩」	編集の具体的方針(2)-⑤による。
	143	写真	修正	「31 世界にひびく伝統の音」 (あんどん風時計の写真は削除し, キャプションを本文の後に記載した。) (写真の説明) JR 姫路駅前の絵あんどんふう時計。正午から・・・音色がひびく。	編集の具体的方針(3)-①による。
6-1	15	写真	修正 追加	「2 志を立てる ——松下幸之助——」 (二またソケットの写真は点図で表し, 写真のキャプションを本文末に挿入した。)	編集の具体的方針(3)-①による。

6-1	19	下段	修正	<p>「3 父の言葉」 (次のように修正した。) 「町で困っている様子の人を見かけたとき」→「町で困っている様子の人に出会ったとき」</p>	編集の具体的方針(2)-⑤による。
	19	絵	修正 追加	<p>(絵を削除し、絵の説明文を追加した。) (例) 足の不自由なおじいさんが横断歩道で信号待ちをしています。おじいさんは二つの荷物を持っています。あなたはおじいさんの隣にいます。歩行者信号は赤です。</p>	編集の具体的方針(3)-②による。
	26	4		<p>「5 友だちだからこそ」 「しぶい表情」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。 * 「しぶい表情」の表情や意味を確認することが必要である。</p>
	38	11	修正	<p>「8 食事中のメール」 (メール中のマークは(怒りマーク)と表記した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	44	1	修正	<p>「9 安全について考えよう」 (次のように修正した。) 「小さな子たちを見かけたとき」→「小さな子たちが周りにいたら」</p>	編集の具体的方針(2)-⑤による。
	51	6		<p>「11 応えん団の旗」 「目がぐぎ付けになった」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。 * 「目がぐぎ付けになる」という言葉の実際の動作と意味を確認することが必要である。</p>
51~53	絵	修正	<p>(51ページと53ページ掲載の旗の絵の中の文字については、絵の説明として次のように脚注の欄に記載した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。	
51			<p>(絵の説明) 写真に写っている旗には、「力を合わせて優勝だ!!」と書かれている。</p>		
53			<p>(絵の説明) 旗には、「優勝へ向けてがんばろう」と書かれている。</p>		

6-2	137	絵	修正	<p>「29 ベトナムの人に、安全な水を」 (ベトナムの地図を点図で表した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	141	写真	修正	<p>「30 天から送られた手紙」 (雪の結晶を点図で表した。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
		14	追加	<p>(漢字の説明を次のように追加した。) 「六花(6枚の花びら)状」</p>	編集の具体的方針(2)-④による。
	152	絵	修正	<p>「32 世の中のためになることをしたい ——石橋正二郎の挑戦——」 (世界一大きなタイヤの絵は削除し、キャプションを脚注の欄に記載した。) (写真の説明) 世界一大きなタイヤ(2001年に開発した…ある。)</p>	編集の具体的方針(3)-①による。
	153	11		<p>「33 「しかみ像」にこめられた思い」 「しかめっつら」</p>	<p>編集の具体的方針(2)-②による。 *「しかめっつら」の表情や意味を確認することが必要である。</p>
162	9	追加	<p>「35 北海道の名付け親 ——松浦武四郎——」 (漢字の説明を次のように追加した。) 「海」 → 「かい(うみ)」</p>	編集の具体的方針(2)-④による。	
	10	修正	<p>(漢字の説明を次のように修正した。) 札幌(「サッ」は「かわく」□□「ポロ」は「大きい」), 洞爺湖(「トー」は「ぬま」□□「ヤ」は「きし」)</p>	<p>編集の具体的方針(2)-④による。 *現在の地名は、アイヌ語の発音に似た漢字をあてることでできたことを、必要に応じて指導したい。</p>	

3 参考資料

【資料1】「6 かぼちゃの つる」(1年 p.16・17)

(1)

かぼちゃばたけの かぼちゃわ、 つるを はたけの そとえ ぐんぐん のばして いました。

かぼちゃ 「ぼく、 こっちえ のびよー。」

(2)

そこえ みつばちが とんで きました。

みつばち 「かぼちゃさん、 そっちえ のびてわ だめですよ。」

かぼちゃ 「そんな こと かまう ものか。」

(3)

かぼちゃの つるわ みちを こえて、 すいかばたけの なかまで のびていきました。

すいか 「かぼちゃさん、 ここわ わたしの はたけだから、 はいってこないで ください。」

かぼちゃ 「なんだと、 ちょっとくらい はいったって いいじゃないか。」

(4)

そこえ こいぬが とおりかかりました。

こいぬ 「かぼちゃさん、 ここわ みんなが とおる みちですよ。 ここに のびてわ こまりますよ。」

かぼちゃ 「またいで とおれば いいじゃないか。」

(5)

こいぬわ おこって、 かぼちゃの つるを ふみつけました。

かぼちゃわ、 つるを こいぬに ふまれても へいきな かおを しています。

(6)

ぶるるるるる …。

くるまが みちを とおって いました。

かぼちゃの つるわ くるまに ひかれて、 ちぎれて しまいました。

かぼちゃ 「いたいよー、 いたいよー。」

かぼちゃわ ぼろぼろ ぼろぼろ なみだを ながして なきました。

【資料2】「21 ねずみくんの きもち」(1年 p.76～78)

「ねみちゃん、 はやく こないかなあ。」

ねずみくんわ、 こーえんで ねみちゃんと まちあわせです。

(ねずみくんわ ひとりで ブランコに のりながら ねみちゃんを まって います。)

「どけ どけ! ぼくが のるんだ!」

そこに いじわる ねこくんが やって きました。

「また、 いじわる されちゃった。 ぼくって、 だめだなあ。」

(ねずみくんわ ブランコを ねこくんに とられて、 なきながら あるいて いきます。)

「ぼくわ、ちいさくて きが よわくて そのうえ、なにを しても
しっぱいばかり。 だから ぼくわ いじめられてばかり いるんだ。」 (ねずみ
くんわ なきながら かんがえます。)

『ねずみくん、 また なにを めそめそ して いるんだい。』
(そこに ふくろーさんが とんで きました。)

【資料3】「27 みんなが えがおに」(1年 p.100・101)

せんせいが こくぼんに たしぎんの もんだいを 3もん かいて
おっしゃいました。

「きょーわ たしぎんの べんきょーです。 いちろー さん、
けいさんを して ください。」

いちろー さんわ すこし こまった かおを して います。 8+3 わ
できましたが、 7+6 が とけません。

すると、 ともだちが、

「とけないの。」

「だめだなあ。」

と いいました。

せんせいわ、

「みなさん、 ことばの つかいかたに きを つけましょー。 しらないうちに
ともだちを きずつける ことも ありますよ。」

と おっしゃいました。

せんせい 「うれしく なる ことばと かなしく なる ことばが
ありますね。」

(うれしく なる ことば)

がんばろー

すてき

うまいね

だいすき

(かなしく なる ことば)

へた

へんなの

きもい

うざい

せんせい 「どんな ことばを つかえば よいでしょーか。」

とけないの。 →

だめだなあ。 →

【資料4】「27 せい長かいだん」（2年 p.108・109）

生きているって素晴らしいですね。今まで生きてきて楽しかったこと、できるようになったことには、どんなことがありますか。

ゆうき「あかちゃんのころは小さかったよ！」

かえで「楽しかったことは・・・」

しゅん「できるようになったことは・・・」

ゆうか「好きなことは・・・」

みなさんのせい長をささえてくれたのは、どんな人たちでしょう。

【資料5】「30 国旗と国歌を大切に」（2年 p.118）

日本の国旗

（図の説明） 小さい点の部分は赤，そのほかは白。

イギリスの国旗

（図の説明） 小さい点の部分は赤，裏に出した点の部分は青，そのほかは白。

【資料6】「自分のあいさつについて考えよう」（4年 p.50）

いつ どこで だれと あいさつのことば

気づいたことの順に書きましょう。

朝 家で お母さん おはよう。

先にいわれた。

朝 家で お母さん いってきます。

元気な声で言えた。

朝 通学路で となりのおじさん おはようございます。

声が小さかった。

同じ重さ（つばき）

与えられることと 失うことは 同じ重さらしい

【資料7】「30 花に思いを込めて——星野富弘——」（5年 p.136～139）

（星野さんの詩）

同じ重さ（つばき）

与えられることと

失うことは

同じ重さらしい

散る花があって

咲く花がある

はなしょうぶ

黒い土に根を張り

どぶ水を吸って

なぜきれいに咲けるのだらう

私は
大ぜいの人
愛の中にいて
なぜみにくいことばかり
考えるのだろう

ぺんぺん草
神様がたった一度だけ
この腕を動かして下さるとしたら
母の肩をたたかせてもらおう

風に揺れるぺんぺん草の
実を見ていたら
そんな日が本当に
来るような気がした

野ばら
この道は
茨の道
しかし茨にも
ほのかにかおる
花が咲く

あの花が好きだから
この道をゆこう

なのはな
私の首のように
茎が簡単に折れてしまった

しかし菜の花は
そこから芽を出し
花を咲かせた

私もこの花と
同じ水を飲んでいる
同じ光を受けている
強い茎になろう

